

めじろしぶん

2018年 がつごう
6月号

めじろとしょかんはっこう
目白図書館発行



初夏を過ぎ、少し暑くなって衣がえをするこの時期は、梅の実が熟して雨がよくなるようになるので「梅雨」といいます。また、夜の静かな水辺では、光りながら飛ぶホタルが見られるかもしれませんよ。

- 6月4日～10日 歯と口の健康週間
- 6月10日 時の記念日
- 6月17日 父の日
- 6月21日 夏至

今月の特集 「雨の日もたのしいよ！」



『雨がふったら、どこへいく?』
ゲルダ・ミュラー／さく
いとうなおこ／やく 評論社



『おんなのことあめ』
ミレナ・ルケショバー／ぶん
ヤン・クドゥラーチェク／え
ただけゆうこ／やく ほるぷ出版



『かわ』
すずきのりたけ／著 ちま 幻冬舎

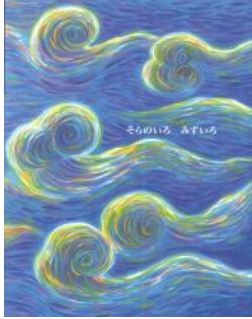


『水瓶座の少女アレーア1 わたしを唾ぶ氷の声』
タニア・シュテブナー／著 中村智子／訳
せん の 千野えなが／イラスト 学研プラス

こんげつ ほん
今月のおすすめ本
 ちから
<ことばの力>



ムッシュ・メジロ



『**そらのいろみずいろ**』^{しもだまさかつ さく こみねしよてん} 下田昌克 / 作 小峰書店

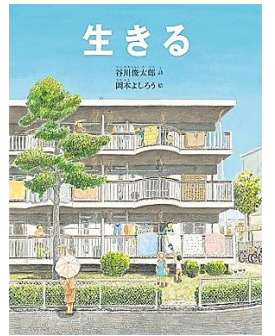
えほん シモ

6月は雨の月、水の月です。人が生きるには水がかかせません。その水はどこからきて、どこへいくのかな？ 力強い絵のなかを水が流れていますよ。さあ、いっしょに見守りながらついていってみよう！

911 ちしき

『**生きる**』^{い たにがわしゆん たろう し おかもと え ぶくいんかんしよてん} 谷川俊太郎 / 詩 岡本よしろう / 絵 福音館書店

生きるってどういうことかな。まずは、この本の言葉と絵をじっくり楽しみましょう。ページのなかには、きみが知っていることもあるはず。そして本をとじたあとは、生きるっていうことをもっと楽しみたくなりますよ。



『**雨ニモマケズ**』^{あめ みやざわけん じ さく ゆのき さみろう え} 宮沢賢治 / 作 柚木沙弥郎 / 絵

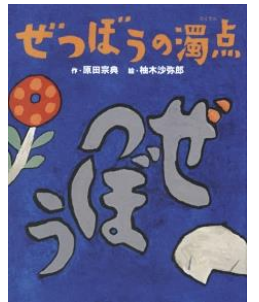
ミキハウス (三越商行) よみもの

宮沢賢治の代表作のひとつです。想像力を広げようと誘われているような絵を見ながら、賢治のことばをたどってみましょう。

本の最後には、賢治のトランクのポケットに入っていたこの詩が、世の中に知られることになったいきさつなどが書かれています。こちらをあわせて読みたいですね。

えほん コ
 『**ぜつぼうの濁点**』^{はらだむねのり さく ゆのき さみろう え きょういくがけき} 原田宗典 / 作 柚木沙弥郎 / 絵 教育画劇

なんと！この絵本の主人公は、「ぜつぼう」の「ぜ」の濁点（てんてん）なのです。「ぜつぼう」が不幸なのは自分のせいではないかと思いつめ、あてのない旅にでます。でも、どこへ行ってもやっかいものあつかいされた濁点が、ついに見事に生まれかわるのです。さあいっしょに見てみましょう！



おしらせ

がつ
6月

★かがくこうさくかい 6月16日(土)

2時から(1時間)地下集会室にて
 ※カウンターか電話でもうしこんで下さい。

●あいうえおはなしかい(30分)

毎週水ようび 3時から

♡あかちゃんおはなしかい(30分)

6月6日 水ようび 2時から

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4 休み	5	6 ●♡	7	8	9
10	11	12	13 ●	14	15	16 ★
17	18	19	20 ●	21	22 休み	23
24	25	26	27 ●	28	29	30